

どれだけ知ってるかな？  
詩の知識

詩の種類

詩	詩	詩
内容	事実や事件をうたった詩	風景を写生的にうたった詩
	作者の感情を主観的にうたった詩	

詩	詩	文体
書かれた詩	口語(現代で使われている言葉)で書かれた詩	文語(古典文学に使われている言葉)で書かれた詩

詩	詩	詩	形式
音数にとられない詩	音数に一定の決まりのある詩	文章(散文)のかたちで書かれた詩	

表現技法

比喩法(対象をほかのものにたとえて印象を強める)

「〜のように」「〜のごとく」などの語を用いて、直接的にたとえる。	「〜のように」を用いず、たとえるものとたとえられるものを直接結ぶ。	人でないものを人に見立てて表現する。	物が出す音や声をたとえた言葉。	物事の様子をたとえた言葉。
----------------------------------	-----------------------------------	--------------------	-----------------	---------------

語句の順序を変えて意味や印象を強める。	同じ言葉を繰り返し返し、印象を強める。	形の似ている語句や意味の似ている語句を並べてリズムを整え、印象を強める。	同じ音や似た音を、行の初めや終わりなどに置き、詩のリズムを整える。	述語などの一部を省略し、余韻を残す。	うたの末尾を体言(名詞)で止めて余韻を残す。	対象や読者に呼びかけ、身近な感じを強調する。
---------------------	---------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	--------------------	------------------------	------------------------

# 覚えておこう 詩の知識

## 詩の種類

内容		
叙事詩	事実や事件をうたった詩	
叙景詩	風景を写生的にうたった詩	
叙情詩	作者の感情を主観的にうたった詩	
文体		
文語詩	文語(古典文学に使われている言葉)で書かれた詩	
口語詩	口語(現代で使われている言葉)で書かれた詩	
形式		
定型詩	音数に一定の決まりのある詩	
自由詩	音数にとられない詩	
散文詩	文章(散文)のかたちで書かれた詩	

## 表現技法

### 比喩法(対象をほかのものにたとえて印象を強める)

直喩法(明喩)		「〇のように」「〇のごとく」などの語を用いて、直接的にたとえる。
隠喩法(暗喩)		「〇のように」を用いず、たとえるものとたとえられるものを直接結ぶ。
擬人法		人でないものを人に見立てて表現する。
擬音語(擬声語)		物が出す音や声をたとえた言葉。
擬態語		物事の様子をたとえた言葉。
倒置法		語句の順序を変えて意味や印象を強める。
反復法		同じ言葉を繰り返し返し、印象を強める。
対句法		形の似ている語句や意味の似ている語句を並べてリズムを整え、印象を強める。
押韻		同じ音や似た音を、行の初めや終わりなどに置き、詩のリズムを整える。
省略法		述語などの一部を省略し、余韻を残す。
体言止め		うたの末尾を体言(名詞)で止めて余韻を残す。
呼びかけ		対象や読者に呼びかけ、身近な感じを強調する。

